

ライトタッチテクノロジー株式会社

糖尿病重症化予防のための 非侵襲血糖値センサーのサービス展開

生活習慣に影響される糖尿病は、国民の健康寿命延伸を阻む大きな要因となっており、国内では予備軍も合わせると患者数が2,000万人を超える重大な疾患である。

しかし、血圧測定等と異なり、自宅で簡易に、侵襲性なく、正確に血糖を測定する医療機器が市場に浸透しておらず、非侵襲の血糖値センサーの早期の実用化が待たれている。なかでも1,000万人ともされる境界型糖尿病の方は、糖尿病発症の確率が健常者の6～20倍と高率でありながら自覚が低い。

そこで日々血糖測定を行う習慣のない境界型糖尿病の方々がひろく生活の中で疾患の予防、早期発見を行い、また適切に管理することを助ける非侵襲型血糖値センサーの開発とそのサービス展開を行う。これにより、医療費、介護費の削減を促進すると共に、新規市場の創出による市場規模拡大をめざす。



氏名 山川考一
Koichi Yamakawa

所属 ライトタッチ
テクノロジー株式会社

役職 代表取締役

大阪大学大学院工学研究科博士後期課程修了、博士（工学）。現在、国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構レーザー医療応用研究グループリーダー。最先端レーザーの研究開発に従事。世界で4億人を超える糖尿病患者の採血による苦痛をなくすため、非侵襲血糖値センサーの実用化に挑戦するライトタッチテクノロジー株式会社を2017年に創業。

Our Mission/ 光を自在に操り、人々の健康と豊かな社会を実現する。

世界で4億人を超える糖尿病患者は、1日4-5回、指などを針で穿刺する自己検査用血糖測定器を用いて血糖値を測定しなければならず、痛みや精神的ストレス、さらに感染症の危険を伴うなどの多くの問題をかかえている。針を刺さず（非侵襲）に血糖値測定ができれば、患者の負担を大幅に低減でき、かつ、従来測定が困難であった食後血糖値スパイクなどが気軽に測定することができ、糖尿病予防にもつながる。

